

コロナ禍での授業

2学期が始まって1週間が経ちました。現在、石川県においては「まん延防止等重点措置」が発出されており、新規感染者が多い状況が続いています。

そんな中での学校生活なので、授業のやり方については私たち教職員の苦悩が続いています。授業では知識を伝達するだけではなく、その教科の面白さや不思議について生徒に感じてもらいたい。生徒は様々な考えを持っているので各々の考えをみんなに交流させたい。でも感染症対策でたくさんの制約がある。

今日はそんな感染症対策下での授業の様子を少しご紹介したいと思います。



理科の授業です。
理科室は座席が対面形式になっているので使わず、授業は教室で行っています。
教室では生徒が実験できないので、先生が
演示実験をして実際に見せることで、少しでも興味を持てるように工夫しています。



体育の授業でバレーボールをしています。
バドミントンのコートを使ってあまり動かなくてもいいようにし、全員マスクを着用しています。本当は点数をとったら盛り上がり
たいところですが、拍手のみという約束です。



音楽の合唱は感染リスクがとても高い活動ですが、文化発表会に向けて全く練習しないわけにも
いかないので、音楽室では男子、調理室と被服室で女子がそれぞれパート練習を行っています。
歌う際にもマスクは必ず着用し、お互いに距離をとって向かい合わないようになっています。

